

平成 25 年 6 月 20 日
J R 東日本秋田支社

秋田デスティネーションキャンペーンに向けた駅の整備について

J R 秋田支社では、秋田デスティネーションキャンペーンに向け駅舎のリニューアルを計画しており、五所川原、十文字、能代の各駅リニューアルを実施しております。秋田に観光でこられたお客さまをきれいな駅設備でお迎えとするとともに、地域のお客さまにも親しまれる駅をさらに目指してまいります。

五能線 五所川原駅

コンセプト

ハイカラな街 五所川原

レンガ調のモダンな
風除室・外観をデザイン

供用開始予定

平成 25 年 8 月 1 日



五所川原市は明治から昭和にかけて商業都市として栄え、青森県一と言われた豪商の邸宅「布嘉御殿」があり、市民がカフェやジャズを楽しむ「ハイカラ」な街でした。そこで布嘉御殿の象徴であったレンガ塀をモチーフに取り込み、外壁や風除室をデザインしました。

奥羽本線 十文字駅

コンセプト

内蔵でおもてなしする茶屋

茶屋をイメージした防風
壁と「内蔵」を再現した
待合室入口

供用開始予定

平成 25 年 9 月 1 日



その昔、十文字は羽州街道と増田街道が交差していたことから「増田十文字」と呼ばれ、そこにできた一軒の茶屋が十文字の始まりとされています。また、増田は住宅の中に蔵を建てる「内蔵」で知られていることから、この地域の歴史と文化に配慮したデザインにしました。

五能線 能代駅

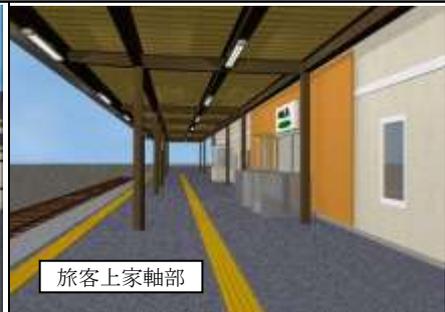
コンセプト

「木都」の町 能代

「木都」能代のイメージ
を強調した外観デザイン

供用開始予定

平成 25 年 9 月 1 日



能代市の中心を流れる米代川流域は、古くから秋田杉の産地として知られており、木工技術は能代の産業基盤でした。「木都」と言われた能代の玄関口にふさわしい駅にするため、正面屋根を大きく張り出して構造材を強調することで、木材の力強さをあらわすデザインとしました。